

幼児教育における ICT 活用の実践とその方法 ～子どもたちの主体的な学びを支えるには～



内容

昨今必要とされている ICT 関連のスキルを幼児期から育むことができるような教員の資質能力を育成するため、本事業の一環として以下の 6 本の動画教材を作成した。

- 1) ICT の活用とその理論的背景
- 2) ICT の教育現場での活用に関する国の動向
- 3) 幼児期における子どもの主体的・対話的・深い学びの保育実践
- 4) 子どもの主体的な活動を促す ICT 機器の利用とその実践事例
- 5) 子どもたちの学びのまとめ ～これから必要な資質能力～
- 6) 情報活用能力を育む保育実践 ～ICT 機器の利用を想定しない実践～

この中で、GIGA スクール構想の実現に向けて小学校以上の教育が改革を進めていく上で、幼児期における ICT 端末の教育利用のあり方について説明を行った。OECD による PISA 調査の結果から、日本の子どもたちに必要とされている資質能力について解説を行うとともに、ICT 機器の視聴時間との関係や、主体的な学び手としての ICT 機器の活用の方針について論じた。また、GIGA スクール構想の概略を述べた上で学習指導要領ならびに幼稚園教育要領における情報教育の位置付けについて説明を行った。続いて、文部科学省が推進する「幼保小の架け橋プログラム」の参考資料に掲載された実践を行った七松幼稚園の園長とともに、幼稚園・認定こども園における ICT 機器を活用した保育実践について、具体例を挙げながら解説を行った。とりわけ、ICT 機器の活用によっていかに子どもたちの主体的・対話的で深い学びを促すかについて論じた。さらに、ICT 機器を用いない想定での情報活用能力の育成について、アンプラグドな実践を挙げてその可能性について解説した。

講師（所属等は令和 6 年 3 月時点）

兵庫教育大学 大学院学校教育研究科 准教授 鈴木正敏
学校法人七松学園認定こども園七松幼稚園 理事長・園長 亀山秀郎